

ベンチェ省バーチー県アンヒエップ村ジョンガック灌漑施設建設計画・引渡し式典

2014年11月26日

2014年11月20日(木)、日本政府による対ベトナム草の根・人間の安全保障無償資金協力「ベンチェ省バーチー県アンヒエップ村ジョンガック灌漑施設建設計画」(2012年度実施)の引渡し式典が、矢ヶ部義則・在ホーチミン日本国総領事館首席領事、バーチー県人民委員会グエン・タイン・ホン委員長、バーチー県人民委員会グエン・ヴァン・ギー副委員長、バーチー県農業農村開発室チャン・クオック・カイン室長出席の下、ジョンガック灌漑施設(実施サイト)において執り行われました。

ベンチェ省バーチー県アンヒエップ村ジョンガック集落は、地質条件及び塩水遡上の影響で農地に塩化物及び硫化物が流れ込む等の被害が出ている地域です。本件サイトには以前、酸化物と塩化物を排出するためのゲートがなく、米の収穫量に深刻な影響が出ていました。本件では117,929米ドルの資金協力を通じて、バーチー県アンヒエップ村にジョンガック灌漑施設を建設しました。

式典において、矢ヶ部義則首席領事は、「本件により、同地域の農地に淡水を供給でき、また、堤防内部への塩水流入を防止できることから、米の収穫量を増加・安定させることが可能となります。堤防内部に農地を持つアンヒエップ村の住民の収入向上に繋がれば幸いです」と述べました。これに対し、ホン委員長は、「バーチー県にジョンガック灌漑施設建設を支援して下さった日本国総領事館に心から深く感謝申し上げます。同施設が最大効果を上げ、地域内の住民の農業開発活動に大きく貢献できるよう、今後も引き続き、安全で効果的な使用及び維持管理に務めてまいりたいと思います。」と感謝の意を表明しました。



引き渡し式典会場になったジョンガック灌漑施設



テープカットの様子



日本が支援したことを示すプレート



同灌漑施設のゲートが開いた様子